

② 家族の関わりが、お子さんの学力を伸ばします！

積極的に「家」コミュニケーション！

★子どもにとって家族は、「ほっ」とできる心のよりどころです★



栃木県の子どもの実態 令和3年度「とちぎっ子学習状況調査」(小学校4・5年生、中学2年生)より

★「家の人と学校でのできごとについて話をしている」の質問に・・・

お子さんと学校での出来事を話しましょう

「はい」と答えた子の教科平均正答率 小4 71.4% 小5 67.3% 中2 62.4%

「いいえ」と答えた子の教科平均正答率 小4 62.0% 小5 56.0% 中2 53.3%

「学校でどんな勉強をしているの?」「友達とどんなお話をしているの?」など、たくさん話を聴いてあげてください。お子さんの話を聴き、あたたかく励ますことで、学習する意欲が高まります。

★「平日にどれくらいの時間ゲーム(テレビゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲーム等)をしますか」の質問について。

ゲームの時間をちょっと減らして、親子の時間にしてみませんか?

1日に2時間以上ゲームをする子の割合を平成29年度と令和3年度を比較してみると…。

	小4	小5	中2
平成29年度	26.8%	27.7%	35.7%
令和3年度	39.5%	42.8%	47.2%

全ての学年でゲームの時間が長くなっています。全国的な傾向として、ゲームの時間が少ない子の方が教科平均正答率が高くなっております。

ゲームやテレビの時間を減らして、親子で「今、夢中になっていること」や「将来の夢」などを語り合う時間を増やしてみてもいいでしょうか。

★「1か月に何冊くらい本を読みますか(教科書や参考書、まんがや雑誌は除く)」の質問に・・・



家読(うちどく)はいゆか?

「5冊以上」と答えた子の割合は 小4 53.2% 小5 46.9% 中2 16.9%

「1冊も読まない」と答えた子の割合は 小4 5.4% 小5 6.8% 中2 14.5%

本を読むことにより、お子さんは言葉を学び、豊かな表現力が身に付いていきます。まずは興味のあるジャンルの本から始めるといいかと思います。1日10分でもいいので、家族みんなで本を読む時間をつくってみてもいいでしょうか。

その他に、「家の人、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」、「自分は家族の大切な一員だと思う」などの質問で、肯定的な回答をしているお子さんの方が、教科平均正答率が高い傾向が見られます。

家族との関わりがあってこそ、子どもは落ち着いて、家庭学習に集中できます。